



あいづばんげ

議会だより



令和2年度例行的な委員審議案件



「塔寺山いこいの森百年委員会」の紹介

設立趣旨

平成22年、会長が町の同意を得て、数人の有志と、「いこいの森」の再興整備活動を始めたことがきっかけとなり、百年先の子孫に誇れる素晴らしい綺麗な山を残そうと、平成24年に設立されました。

会 員

設立趣旨に賛同した有志で構成し、現在の会員は17名。

活動内容

これまで10年間かけて、桜（約100本）、もみじ（約50本）、やまぶき、つつじ、しゃくなげ等の多彩な植栽と歩きやすい遊歩道の整備をしてきました。また、植栽時に「桜エリア」と「もみじエリア」の2つに分けることで、年間を通じて、四季折々の木々に触れ、自然に親しみ、山歩きを楽しめる、本当の「いこいの森」を目指して周辺整備を進めています。

また、最近では「いこいの森活動」とは別に、新規活動として、『くるみ部会』を立ち上げ、遊休農地を利用して町特産の「くるみ」を植栽しており、地域の農業振興に寄与する活動にも取り組んでいます。

問合せ先

会長 白井 岷吉 (Tel 0242-83-2554)

ばんげの宝

【塔寺山いこいの森百年委員会】

目 次

ココに注目!

「あたらしい議会議員の紹介」(2P~3P)

- ◆ 正副議長挨拶、議会構成 …………… 4~5 P
- ◆ 令和2年度当初予算 …………… 6~7 P
- ◆ 予算特別委員会 …………… 8~9 P
- ◆ 第1回定例会の主な審議案件 …… 10~11 P
- ◆ 令和元年度補正予算 …………… 12 P
- ◆ 一般質問 …………… 13~17 P
- ◆ 議会の動き …………… 18~19 P
- ◆ みなさんの声・編集後記 …………… 20 P

会議員の紹介

スタート～

(7) 町政について	(6) 座右の銘	(5) 趣味	(4) 所属常任委員会	(3) 党派 当選回数	(2) 電話番号	(1) 住所	氏名(年齢)	顔写真	議席番号
------------	----------	--------	-------------	-------------	----------	--------	--------	-----	------

今期から議員定数14名へ

平成28年6月より、議会改革特別委員会において、約2年間に及び協議がなされました。
 平成30年第1回定例会において、議員定数を2名削減し、14名とする「会津坂下町議会議員定数条例の一部を改正する条例」を提出し、賛成多数で可決されました。
 これにともない、常任委員会数も3から2へ再編されました。



赤城大地 (29)
4番

- (1) 大字新開津字村内86番地
- (2) 82-2352
- (3) 無所属 2回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) 剣道、子育て
- (6) 苦しい、疲れた、もうやめたでは、人の命は救えない
- (7) 若輩ながら、精一杯務めてまいります。よろしくお願いたします。



目黒克博 (60)
1番

- (1) 大字宮古字中西66番地
- (2) 83-2587
- (3) 無所属 1回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) 音楽
- (6) 感謝・継続は力なり
- (7) 町民皆様の声をパイプ役として町政にしっかりと届け坂下町の活性化に努めます。皆様の身近な議員として心掛けてまいります。



横山智代 (64)
5番

- (1) 字松ノ目1564番地
- (2) 83-3248
- (3) 日本共産党 2回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) 書道、楽器演奏(チェロ、ピアノ)
- (6) 有言実行
- (7) 町民の声を聞き、町民に寄りそい、やさしさのある町政が必要であると思います。(知恵を出し合う)



蓮沼文明 (60)
2番

- (1) 大字塔寺字大門1476番地
- (2) 83-2943
- (3) 無所属 1回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) ドライブ、音楽鑑賞、スポーツ全般
- (6) 金がないから何もできないという人間は、金があっても何もできない人間である
- (7) 町政と住民の共通認識、相互理解が大事。スポーツの振興、若者の町への定住化及び就業、活気溢れる会津坂下町実現に向けて住民の本当の声が町政に反映できるようにしたい。



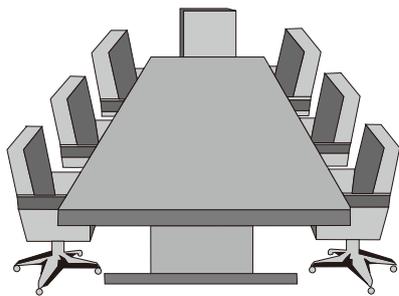
渡部正司 (66)
6番

- (1) 大字牛川字村中甲2391番地
- (2) 83-1867
- (3) 無所属 2回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) ジョギング、散策
- (6) 一所懸命
- (7) どんな難問にも答えはある。多様な視点への柔軟性を備え、住民目線を見失わず、たゆまぬ刷新と創造のまちづくり、暮らしのための町政を希求します。



物江政博 (64)
3番

- (1) 字大道2431番地1
- (2) 83-2425
- (3) 無所属 2回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) 生け花
- (6) 精力善用 自他共栄
- (7) 本来なら行政は町民の方々の負担を軽減する施策を取り入れるべきだが、現状に於いては町民活力も視野に入れ協力を願う事が必要と考えます。



あたらしい議 ～新構成で



小畑博司 (67)

7番

- (1) 大字東松字上野中819番地
- (2) 85-2403
- (3) 無所属 3回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) 音楽鑑賞、囲碁
- (6) 一人は万人のために、万人は一人のために
- (7) 適正な行政執行をしっかりと検証しながら元気の出る、持続可能な未来へ向かう政策を実現できるよう提言しつづけます。



五十嵐一夫 (70)

11番

- (1) 大字坂本字上新田丁1番地
- (2) 83-4009
- (3) 無所属 6回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) 鉄道写真撮影、気ままな家族旅、ボウリング
- (6) 生きる
- (7) 地方自治の根幹である二元代表制の権限、機能の適正な運営を目指す。監視機能としての議会の役割の発揮、議員の資質向上をはかり議員改革への取り組みを行います。



佐藤宗太 (40)

8番

- (1) 大字福原字福川原911番地1
- (2) 82-2553
- (3) 無所属 3回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) 語学
- (6) 知行合一
- (7) 身近な政治の窓口として、みなさまの代弁者として、子育て・教育支援と共に、福祉の充実をはかるために必要不可欠な経済政策、産業振興に粉骨砕身努めてまいります。



酒井育子 (79)

12番

- (1) 大字気多宮字宮ノ内12番地1
- (2) 83-3059
- (3) 無所属 7回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) お料理をすること、観葉植物鑑賞
- (6) 一期一会 真実一路
- (7) 健全な財政確保で、子育て日本一の環境づくり、健康寿命日本一をめざし安心して暮らせる福祉の「まち」。住んでる「みんな」が自信をもって誇れる町づくりをめざしてまいります。



山口享 (58)

9番

- (1) 字茶屋町甲3871番地1
- (2) 83-2774
- (3) 無所属 3回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) 映画・落語鑑賞
- (6) 公平公正
- (7) 第6次振興計画が始まります。実施計画の最重要点が財政再建であります。しっかりと審査し、しっかりとチェックしてまいります。更に政策提言をしてまいります。



青木美貴子 (65)

13番

- (1) 大字宮古字中西29番地
- (2) 82-2665
- (3) 無所属 3回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) 音楽に親しむこと
- (6) 感謝
- (7) 財政健全化を目指しつつある町政の有り方を継続しながらも町民へのサービスを重点的にいかなければならぬと思う。どんな状況の中でも生き残れる強く柔軟性に満ちた町政を作りあげていくべきかと思う。



渡部順子 (62)

10番

- (1) 大字東松字茅場1327番地
- (2) 85-2406
- (3) 無所属 4回
- (4) 文教厚生常任委員会
- (5) ソフトボール
- (6) なせば成るなせば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり
- (7) 持続可能なまちづくりの為に未来を見据えて進んで行くことが必要であります。町民、町議会がワンチームとなり災害に負けない、安心して元気な町づくりの為に働きます。



水野孝一 (70)

14番

- (1) 大字中泉字毘沙田2022番地
- (2) 83-1849
- (3) 無所属 7回
- (4) 総務産業建設常任委員会
- (5) ウォーキング
- (6) 終わり良ければすべてよし
- (7) 財政健全化、若者定住対策を最重要課題として取り組む。交通弱者の足となる公共交通の見直しを議会で対策を提言していく。又、福祉の向上、農商工業の振興を諮って参ります。

正副議長就任あいさつ



副議長
青木 美貴子

新緑の候、町民の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る、4月3日に開催されました臨時議会におきまして、私どもが名誉と伝統のある会津坂下町議会議長、副議長に選任されました。

責務の重さに、身の引き締まる思いでございます。

今期より議員定数を2名減の14名に、3常任委員会を2常任委員会に再編し、議員の力を

結集し、町民本位の議会活動に努める所存であります。

さらに、「開かれた議会、活力のある議会」構築のため、町民と議会議員が意見を交わす「ばんげ未来トーク（町民懇談会）」の開催や、「議会を代表しての質問」を実施し、議会内で検討することで、議論を活発化し、町政の課題を共有しつつ、諸課題の改善策を提案してまいります。

特に今年は、第六次会津坂下町振興計画の初年度の重要な年となることから、町政における財政基盤など課題解決に向け、第六次会津坂下町振興計画の「みんながつながる」を基本理念とし、町民が夢と希望を持ち、安心して暮らすことのできる町を、私ども、議会議員一人ひとりが、自らの責務を自覚し、議会基本条例に基づき、町民の意思を的確に町政に反映できる議会の確立を目指してまいります。

町民皆様の叱正、ご鞭撻をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。



議長
水野 孝一



町民に信頼される身近な議会を目指し、今後4年間、町政の発展に議会全員で取り組んで参ります。よろしくお願い申し上げます。

会津坂下町議会議員一同

新しい議会の構成

議長 水野孝一

副議長 青木美貴子

令和2年4月3日 改選

令和2年4月3日 現在

委員会名	委員長	副委員長	委員	
総務産業建設 (7人)	渡部正司	佐藤宗太	目黒克博	横山智代
			山口享	酒井育子
			水野孝一	
文教厚生 (7人)	赤城大地	物江政博	蓮沼文明	小畑博司
			渡部順子	五十嵐一夫
			青木美貴子	
議会運営 (4人)	渡部順子	酒井育子	赤城大地	渡部正司

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員 (2人)

五十嵐一夫
山口享

監査委員 (議会選出) (1人)

酒井育子

国民健康保険運営協議会委員 (1人)

赤城大地

会津若松地方土地開発公社理事 (1人)

渡部正司

委員会名	委員長	副委員長	委員	
広報広聴特別 (5人)	青木美貴子	横山智代	目黒克博	蓮沼文明
			小畑博司	

総務産業建設常任委員会



文教厚生常任委員会



議会運営委員会



広報広聴特別委員会



第六次会津坂下町振興計画がスタート

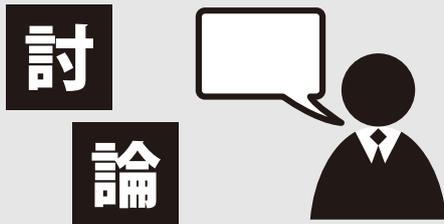
堅実な予算配分を評価



令和2年度各会計の当初予算の額

当初予算の前年度比較 (単位: 千円)				
会計区分	R2	H31	対前年比	
一般会計	6,820,000	6,889,000	▲ 1.00%	
特別会計	国民健康保険	1,856,653	1,869,534	▲ 0.69%
	介護保険	2,150,220	2,217,124	▲ 3.02%
	後期高齢者医療	195,578	180,293	8.48%
	下水道事業	501,500	418,700	19.78%
	坂下東第一地区土地区画整理事業	232,623	179,225	29.79%
	農業集落排水事業	71,300	68,900	3.48%
	水道事業会計 (収益的収入の比較)	530,272	494,774	7.17%

令和2年度
一般会計について
私はこう考える



賛成

五十嵐一夫議員

本案について賛成するもの要望・提案を申し上げます。みなし道路の取り組みを今後補正で対応していただきたい。町長の退職金をなくす取り組みを願いたい。現庁舎はいつ使用不能になってもおかしくありません。早急な取り組みが必要であります。町に元気がない、元気になるような取り組みを期待します。また、会津坂下駅・立木観音等への早急に喜ばれるトイレ設置の推進、企業や施設、ホテルの誘致運動の展開を願います。

賛成

三橋 薫議員

歳出面では、子育て支援、住民福祉向上の予算等も確保され、公債費の早期返還、起債をなるべくおさえる努力が見られる予算であります。しかし、財政調整基金の積立金が不足しており、今後は予算規模に合った積立金の確保を目指すことを望みます。

賛成

山口 享議員

第六次会津坂下町振興計画のスタートの年です。その初年度は非常に重要な年となると考えます。当面は、財政健全化を最優先課題とし、町の将来像として掲げた「やっぱり、ばんげがいい」と思えるまちづくりのためには、ある程度の予算と協働のまちづくりによる創意工夫に満ちた取り組みが必要とします。

令和2年度重点事業（一般会計）（事業費（単位：千円））

自ら学び、学び合う「ひとづくり」		安全・健康で、快適な「くらしづくり」	
子育てふれあい交流センター事業	5,506	たばこ対策事業	1,085
子どもの居場所づくり事業	22,923	健康ポイント事業	1,085
ホームスタート事業	3,266	健康づくり推進事業	556
子育て世代包括支援センター事業	1,972	食育推進事業	115
コミュニティスクール事業	R3より実施	一人暮らし高齢者生活支援事業	1,787
郷土学習副読本活用事業	在庫活用	介護予防・地域での支え合い事業	5,086
小中学校情報教育機器整備事業	11,573	福祉ボランティア充実事業	5,086
生涯学習推進事業	700	地域生活支援拠点等の整備	R3より実施
芸術作品等の発表の場の創出	700	自主防災組織の育成事業	51,632
スポーツ振興事業	1,814	空き家対策事業	258
本に親しむ読書活動の推進	1,384	廃棄物減量化推進事業	77
学校給食センター運営事業	185,239	廃棄物再資源化事業	50
埋蔵文化財センター活用事業	5,414	廃棄物処理収集事業	51,503
活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」		不法投棄防止活動の推進	155
担い手アクションサポート事業	300	汚水処理事業	236,190
農地中間管理事業	14,981	役場庁舎の建設	100
農産物販路拡大事業	3,379	都市公園整備事業	6,414
福祉・教育機関との連携	3,379	空き家活用推進事業	900
鳥獣被害防止総合対策交付金事業	1,196	町営住宅用地分譲事業	900
「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業	10,000	一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」	
物産等販売促進事業	7,217	地域づくり推進事業	8,400
起業用お試し施設	298	地域づくりコーディネーターの配置	8,400
街なかギャラリー	298	地域づくり情報発信の促進	8,400
企業経営・雇用支援事業	1,638	コミュニティビジネスの創出	24,048
広域連携による企業誘致活動	488	地域おこし協力隊の活用	150
勤労者互助会	310	若者による地域づくり活動の推進	350
中小企業・小規模事業者支援事業	27,185	職員研修事業	874
商品・観光資源の開発	2,220	人事評価・人材育成事業	874
祭り活性化事業	16,800	広報内容等の充実	4,514
		SNS等の活用	15,242



若者集会（U30）

町内在住、あるいは通勤・通学する若者の地域づくりへの参画や地域との交流を推進するため、青年団体や地元高等学校等と連携し、地域づくり活動を実践する場として「若者集会」を実施する。

新規
若者による地域づくり活動の推進

コミュニティセンターに地域づくりコーディネーターを配置し、地域の中心的担い手として地域課題解決型の地域づくりを実施する。

新規
地域づくりコーディネーターの設置

コミュニティセンターを中心として、地域住民が集い、互いに相談し合い、課題を共有するための機会として「地域づくり懇談会」を定期的開催する。

新規
地域づくり情報発信受発信の促進

ピックアップ

議会の

注目事業

集 中 質 疑

予算特別委員会

来年度の各会計歳入歳出予算について審議するため、予算特別委員会を設置しました。

委員長に佐藤宗太議員、副委員長に物江政博議員を互選し、2月28日・3月2日の両日開催され町長提出の8会計を、慎重に審議した結果、すべての会計の予算を可決いたしました。



佐藤宗太委員長と物江政博副委員長

きちんと有効に予算配分されて
いるか各事業をチェック



議会が予算書を見る主なポイント

- ①前年対比が大きい事業の精査
- ②住民のニーズにあった事業の予算配分
- ③一般会計から特別会計への繰入金割合
- ④財政調整基金への積立状況
- ⑤国・県各種補助金の内容や補助率（町の負担割合）
- ⑥各種団体等への補助金交付内容や状況
- ⑦第六次振興計画の実現に沿った予算配分
- ⑧起債（借り入れ）にあたり、歳入にあった歳出計画の予測
- ⑨廃止（予算減）となった事業の検証



主な質疑内容



会計年度任用職員について

Q 会計年度任用職員制度移行によって、一般会計の負担が増額した金額は。また、次年度以降も交付税の算定対象となるか。

A 当初予算において約7900万円が増額となり、令和3年度以降も会計年度任用職員に対する交付税算定は継続するものと見込んでいる。

道の駅に対する委託料

(指定管理料)について

Q 指定管理者としている道の駅に対する委託料1000万円は妥当な金額なのか。

A 委託料には国の施設や駐車場の管理経費、火災保険料等が含まれている。指定管理料として必要な経費はきちんと支出し、売上等により利益が出た場合は、町に対する寄附という形で還元したいと考えている。

ネーミングライツについて

Q 鶴沼球場のネーミングライツを募集中であるが、問い合わせ等はあるのか。また、命名権を月額3万円以上とした根拠は。

A 現在、応募はないが、今後PR活動を行い、積極的な働きかけをしていく。募集終了後、複数の申し込みがあれば、5月に審査会を経て選定し、決定していく予定である。月額は施設規模や使用客数、他自治体の現状を総合的に考えて設定した。

地域づくり交付金について

Q 地域づくり交付金が昨年と比べて100万円減額となった理由は。

A 各地区から令和2年度に実施要望された事業について満額計上しており、削減等を実施したものではない。また、地域課題解決分として、一地区当たり20万円を新規に予算計上したので、その予算を活用して令和2年度からの地域づくりを盛り上げてほしいと考えている。

農林業水産事業費

県補助金について

Q 中山間地等直接支払制度、環境保全型農業直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金事業の有効活用をどう図るのか。

A 中山間地等直接支払制度と多面的機能支払交付金事業を選択制から併用に戻した。交付された補助金を有効に活用できるように地域団体に対して積極的に情報提供を行い、事務の軽減化を図るため、サポートする。

学校教育

アドバイザーについて

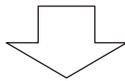
Q これまで指導主事が配置されてきたが、令和2年度から学校教育アドバイザーに変わる。今までのような指導が継承できるのか。

A これまで常勤だった指導主事と違い、学校教育アドバイザーは週3日勤務で1ヵ月18時間未満となる。これまで培ってきた学校環境が停滞しないように学校教育アドバイザーを中心に教育委員会職員が一丸となって継続できるように取り組んでいく。

新たな地域づくり事業に向けた準備進む



現在の「坂下コミュニティセンター」
(中央公民館2階)



移転先となる「まちづくりセンター」
(役場東分庁舎北側)



現在、坂下中央公民館二階に所在する「坂下コミュニティセンター」が、坂下地区地域づくり協議会との協議の結果、5月1日を目途に、東分庁舎、現在の「まちづくりセンター」へ移転となります。

会津坂下町コミュニティセンターの 設置及び管理に関する条例の一部改正

坂下コミュニティセンターの場所変更

第4回 (3月) 定例会 (2/19~3/4)

2月19日から3月4日までの15日間で開催されました。町長提出議案26件(人事2件、条例9件、当初予算8件、補正予算7件)が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、25日と26日に一般質問が行われ8名の議員が登壇し町政について質問しました。さらに27日に各常任委員会、28日と3月2日には予算特別委員会を開き、提出された議案等を審議しました。本定例会中、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い、議員提出議案2件が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

町長給与30% 副町長・教育長給与15%減額の改正 町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会の答申を受け、令和2年4月から令和3年3月末までの1年間、町長30%、副町長・教育長15%給与を減額する。



主な質疑



問 選挙公約通り給与減額が2年間されてきたが、4年間実施するべきことなのか疑問であり、減額するよりも、給与をきちんと受け取り、その分を町に還元していくべきではないか。

答 3年前の選挙公約で始めたことである。給与が減額されたことと、仕事をやるやらないは別物である。給与が幾らであっても自分が与えられた使命はきちんと果たしていくつもりなのでご理解頂きたい。

議論の経過を知りたい方は

定例会の会議録をホームページで公開しています。公開は4月下旬を予定しています。

人事案件

固定資産評価審査 委員会委員の選任

田尻早苗氏（新任）【杉
の選任に同意しました。

任期は令和2年4月から
3年間です。

賛成全員で同意

人権擁護委員 の推薦

矢部哲雄氏（再任）【茶
屋町】の推薦に同意しまし
た。

任期は令和2年6月より
3年間です。

賛成全員で同意

民法改正に伴う連帯保証人制度変更

会津坂下町営住宅管理条例の一部改正

民法等の改定により連
帯保証人の規定が削除さ
れたことを受けて、本町
の町営住宅においても、
生活困窮者の居住先を確
保する役割を果たしてい
ることや、身寄りのない
生活困窮者の入居の障害
とならないよう、保証人
を町営住宅の入居要件と
しないよう規定を改める。



町営住宅（中岩田南団地）



問…賃貸する際に、連帯保証人を立て

られない課題も理解できるが、連帯保
証人がいることの効果もあるので、撤
廃をするのではなく、入居者によつて
は保証人が立てられる人もいるので、
どちらかを入居者が選択できるように
改正すべきではないか。

答…様々な選択肢があるとは思われる
が、町は国の方針・施策に則った形で、
町営住宅の管理を行っていきたい考え
であるので、ご理解頂きたい。

五十嵐一夫議員

反対

提案された非保証人制度を取
り入れることについて異論はあ
りませんが、保証人制度と非保
証人の制度を併用して、入居者
に選択していただいているので
はないか、保証人制度は廃止せ
ず堅持すべきものと思慮します。
本案についてももう一度検討し
ていただきたく、反対します。

審議案件に対する 賛否の状況 (賛否が分かれた議案)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	小畑 博司	佐藤 宗太	山口 享	三橋 薫	青木美貴子	五十嵐正康	渡部 順子	五十嵐一夫	水野 孝一	酒井 育子	猪俣 恒雄	古川 庄平
会津坂下町国民健康保険税条 例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
会津坂下町営住宅管理条例の 一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません

予想外に申請が少なかったプレミアム付商品券

追加議案として提出された、一般会計及び特別会計の令和元年度補正予算を審議し、すべて原案どおり、可決しました。今回の補正は、主に交付金・補助金をはじめ事業費の確定に伴う事業費の増減を計上したものであり、主な変更内容は下記のとおり。

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計 補正予算（第5号）	74億 5,794万6千円	△1億 4,964万3千円	73億 830万3千円

＜歳出事業の主な変更内容＞

①一般廃棄物収集業務（台風19号・稲わら処理）	5,431万円増
②プレミアム付商品券（当初見込より申請件数減）	3,550万円減
③介護保険特別会計繰出金（見込より減額）	1,145万円減
④児童措置費(当初見込より申請件数減)	760万円減
⑤工事請負費（町営住宅改修工事の事業費確定）	4,071万円減
⑥予備費（予算調整のため）	3,787万円減



令和元年度プレミアム付商品券

問…プレミアム付商品券が大幅に減額となっているが、執行状況とその要因を伺う。

答…町全体として、当初2800人の申請を見込んでいたが、12月20日時点で1297人であり、約39%の執行状況である。申請が少なかった要因として、プレミアム付商品券が交付されるのではなく購入する必要があるので、高齢者の方々にとって使いにくい、また申請が煩雑であると感じて、当初見込みよりも利用者が少なかったと考えている。



令和元年度繰越事業

No.	会計	款	項	事業名	金額(千円)
1	一般会計	4 衛生費	1 清掃費	災害等廃棄物処理事業	54,772
2		6 農林水産業費	2 林業費	ふくしま森林再生事業	35,960
3		8 土木費	2 道路橋りょう費	社会資本整備総合交付金事業（橋梁整備）	20,060
4			4 都市計画費	公共下水道事業（一般会計繰出）	2,677
5		11 災害復旧費	1 農林水産施設災害復旧費	農業施設災害復旧業務	24,546
6	下水道事業特別会計	1 下水道事業費	3 下水道建設費	建設費	52,600
7	坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	1 事業費	1 坂下東第一地区事業費	坂下東第一土地区画整理事業	67,849

一般質問



議員が町政を質す！

第1回定例会では、8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、14ページから17ページです。

質問議員（質問順序）	質問項目	頁
1  (議会を代表しての質問) 五十嵐 正 康	①会津坂下町の財政健全化と明るい将来像について ②会津坂下町の産業の活性化について	P 14
2  五十嵐 一 夫	①町の活性・振興に欠かせない、宿泊企業誘致活動の取り組みを問う ②交流人口拡大にトイレは喫緊の課題 ③生活交通としての公共交通バス対策事業取り組みを問う	P 14
3  横 山 智 代	①環境・ゴミ減量等について ②教育行政について ③職員の人材育成について	P 15
4  佐 藤 宗 太	①災害と防災について ②自己財源確保について ③将来に求められるITや国際化へ向けた教育環境について ④冬期間の通学バスの無料化についてどのような検討がなされたのか	P 15
5  渡 部 正 司	①地域づくりについて ②役場窓口対応について	P 16
6  小 畑 博 司	①ばんげ学を進化させ、町の担い手を育てよう ②ふるさと回帰の機運を活かせ	P 16
7  赤 城 大 地	①第六次振興計画実施計画について	P 17
8  物 江 政 博	①鳥獣被害について ②町道について	P 17

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。

第1回（3月）定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



令和2年第2回定例会は、6月4日から6月12日までの会期（予定）です。

一般質問は6月8日（月）、9日（火）午前10時開会予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の際は手指の消毒、マスクの着用にご協力下さい。



五十嵐正康議員

財政健全化施策を問う

繰上償還や独自財源確保に努めます

問 公債費の平準化の考えと独自財源確保のための政策は。

答 基金積み立ての状況や各種財政指標の推移を見極め、財政健全化の取り組みの中で最適な時期に自主財源による繰り上げ償還を検討してまいります。

独自財源確保につきましては町税の収納率の維持、ふるさと納税の推進、未利用財産の積極的な活用・処分及び、公共施設に対してのネーミングライツ事業の実施等について進めてまいります。

問 公共施設等総合管理計画の取り組みのための、今後10年間で必要とされる予算の規模は。

答 現在、公共施設総合管理計画（個別施設計画）の見直しをするため、今後10年間に見込まれる修繕及び長寿命化の需要量調査を実施しております。それらに基づき修繕・更新費用の平準化を図り、財政に与える影響を最小限にしながら、施設の維持・管理に取り組んでまいります。



ドローンを活用したスマート農業

今後の農業施策の強化はスマート農業の基盤整備を行います

問 農地のインフラ再構築と高度ICT活用により国際競争力の強化を。

答 今年度から開始した「人・農地プランの実質化」を推進させ、農地集積の向上を図りスマート農業に対応した基盤整備を行いながら取り組んでいきます。



五十嵐一夫議員

ホテル誘致の必要性を問う

波及効果は大きいと認識

問 町の活性・振興に欠かせない、ビジネス・ツーリストホテルの誘致の必要性、効果、取り組みの姿勢について問う。

答 企業誘致と同様に、地域への波及効果が大きい、有意義な取り組みと認識しています。会津坂下町では採算の取れる稼働率6割は大変厳しい数字であります。宿泊企業を含めたサービスマイニングの誘致にも重点を置き、これまでの製造業を主体とした企業誘致と一体的に取り組みとともに、未使用公共設備を活用した宿泊施設への整備についても模索してまいります。

問 バス利用の通院者においては診察後の待ち時間が長く、バス待合所はお粗末、高齢者には耐えがたい、午前便の増便ができないのか、タクシーとの協力、西会津線との協力ができないのか。

答 若松や喜多方への便は通学バスが仕立てられている、提携すれば路線の利便性が向上するが提携の取り組みが課題。



西会津町民バス 野沢坂下線

乗る自由にもなる
内でも自由に
下町でも降り
坂降の

問 きかないのか等公共バス対策事業を問う。通学時間帯の利用は多いものの、それ以外の時間帯の利用が少ないことが課題であります。

答 住民の生活を支える交通手段を確保するため、既存の形態にかかわらず、事例等を調査・研究し、利用しやすい公共交通にしたいと考えています。タクシーとの協力については、タクシー券の補助について検討します。通学バスの路線バスへの切り替えは困難であります。

これも質問

問 交流人口拡大にトイレは喫緊の課題。

答 必要不可欠ですが、現在の財政状況では厳しいです。



材質(ポリエチレン)を
見直してほしい要望が
ある「破れやすいゴミ袋」



横山 智代議員

ゴミ袋の価格は下げられないか！
今後も現状の事業を継続します

問 ゴミ袋の品質・価格について伺う。

答 ゴミ袋の品質は、材質にポリエチレンを使用。可燃袋で0.04ミリメートル、不燃袋で0.04ミリメートルです。取り扱い上の注意はロールを束ねてある紙に記載されております。ポリエチレンは、引っ張りに強く、伸びにくいという特性があります。以前の炭酸カルシウム含有の袋に比べ、燃やしても有害ガスやダイオキシン等の発生もなく、環境にやさしいエコ素材であり、今後もこの材質を使用して参りたいと考えています。価格ですが、ごみ排出量の削減及び排出者の負担の公平化を目的にごみ処理有料化を実施しており、それに伴う処理手

数料は基金として積み立てし、廃棄物処理施設の整備及び廃棄物減量化推進事業に対応しています。今後も現状のごみ処理有料化事業の継続を維持して参ります。

学校給食費の助成はできないか
食材費は保護者負担としています

問 学校給食費の助成はできないか。

答 本町の学校給食の食材費については保護者負担とし、調理や運搬等、給食センターの運営に係る費用は、今まで通り町が負担する考えです。教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、要保護・準要保護世帯の給食費は全額援助を行っています。

これも質問

問 職員の人材育成について。

答 より質の高い行政サービスの提供と町政発展のためには、人材育成は欠かせないと考えております。



佐藤 宗太議員

災害と防災についての課題は
自主防災組織の育成を図ります

問 災害と防災についての考え方は。

答 災害の影響を最小限に抑えたいとめるような防災体制を構築する必要があると期待される。自主防災組織の育成を図るとともに、「自らの命は自ら守る」といった考え方を基本に、その必要性や役割、防災訓練への積極的な参加等について、広く地域住民に啓蒙してまいります。

問 台風19号における被害の復旧状況は。

答 浸水被害家屋を除きますと、町の法面崩落2路線、農地の法面崩落が3箇所、用水路等の破損が2箇所、揚水機の故障が3箇所あります。このうち、町道勝負沢線につきましては、昨年12月9日に竣工しました。また、町道片門洲走線につきましても、昨年12月12日に竣工したところであります。

農地及び農業用施設につきましては、作付前の竣工をめざし、復旧工事を進めてまいります。



水害に対応する消防団

問 河川氾濫地域の現状と対策は。

答 水害で被災する地区につきましては、おもに細工名地区と片門地区であり、河川増水による内水氾濫が原因であり、現在、国及び県において、阿賀川と只見川の河道掘削工や築堤護岸工の河川改修工事が行われており、内水氾濫が改善されることを期待しています。また、只見川の河川改修工事においては、毎回浸水する箇所に排水用の大型集水樹の設置を要望いたしました。



渡部 正司議員

地域づくりへの町長の関与は

地域づくり推進会議を設置しました

問

令和2年度から配置される地域づくりコーディネーターの役割はなにか。町職員による地域づくりコーディネーターへの指導監督とはどのようなことか。

答

地域づくりコーディネーターを常勤職員として各コミセンに1人配置します。地域づくりを推進する中心的担い手として、各地区地域づくり協議会と連携し、地域課題の把握に努め、地域の人材を活かす「地域課題解決型」の取り組みをするものです。

問

また、まちづくりセンターへ町職員2名を配置し、業務管理、庁内関係部署との連携を図るなど、地域づくりコーディネーターを補佐してまいります。

答

地域づくりでの「コミュニティビジネス」の実態はなにか。持続可能な活動として充実させていくためにコミュニティビジネスの創設を重点事業に掲げました。地域資源を活用した特産品の開発・販売、リサイクルやイベントでの収益金を地域に還元する仕組みをつくりま



集い合う地域イベント
(若宮地区町民大運動会)

窓口対応への苦情処理は どうしているか

窓口の改善等を行っています

問

窓口でのインシデント(事件・事象)の捉え方をどう考え、実践しているか。

答

事務や接遇において、様々な事象を見落とさないことが基本と考えています。事象を発見したものは、遅滞なく上司等に報告し、事象による被害を最小限にとどめ、原因調査や再発防止策等の検討・共有を図り、注意喚起等を行っています。



小畑 博司議員

ばんげ学を進化させ、町の担い手を育てよう

今後も、地域と学校が連携し郷土への理解を深め、町の課題を考えることの出来る子供を育てたい

問

町は坂下の魅力を伝えるため、副読本を作り小学生から学ばせておりますが、魅力だけではなく町の課題を共に考えていただく学びへの進化を検討しましょう。

答

現在、小学3年生に「副読本」を配布し、町の産業や伝統行事について学習しております。

また、中学生は「職業体験学習」などを通じて、地域貢献への意識を育んでおります。今後とも地域と学校が連携し町の課題を共に考えられる子どもを育てたいと考えます。

ふるさと回帰の機運を活かせ

町の課題解決には有効と考えます

問

地域おこし協力隊は全国で5000名を超えて採用されている。ふるさと回帰の機運を活かし、まちづくりに活用せよ。

答

地域における担い手不足や、後継者不足などの課題解決に、ふるさと回帰の機運を活かすことは有効であると考えます。今後も、ふるさと回帰支援センターと連携を図り、交流人口・関係人口の増加、移住・定住につなげて行きたいと考えております。



郷土を知るために、
もっと活かす副読本



赤城 大地議員

若者集会での提案に

必要な予算を確保します

問 来年度より本格的に始動する若者集会での提案はどのように施策に取り入れられ予算措置がなされるのか。

答 若者による地域づくり推進事業は、具体的には坂下高等学校、会津農林高等学校の生徒が地域づくり活動に取り組む事業であり、会津大学短期大学部青木ゼミの学生に高校生とのコーディネートを依頼しています。事業全体の運営については一般社団法人会津坂下青年会議所との連携により実施しようとするものです。多くの若者の想いが込められた「若者集会」からの提案には、地域に活力を与えられるよう、必要な予算を確保してまいります。

じる。これらは合わせて行うことで相乗効果があると考えますが所見を伺う。

答 この二つの事業は、町内における雇用創出や経済の活性化など同様の目的を有した重要な施策であり、一体的に取り組むことでより一層の効果が得られると考えます。そのため、今後の取り組みについては、コンビニエンスストア空き店舗への運輸関連企業の誘致など、固定観念にとられない幅広い視点を持ち、関連する事業をつなげ一体的に取り組むことで街なかの賑わいと地域の活性化につなげてまいります。

問 街なか賑わい創出事業と企業誘致推進事業は従来の中心市街地や工場誘致にとらわれているように感じ

問 従来の中心市街地にとらわれない施策が必要ではないか
固定観念にとらわれない施策を行います



なんとか活用できないか空き店舗



物江 政博議員

町道の安全対策の施策を問う

各関係機関と連携して対処する

問 町道に自動車安全に運行するために施されているラインが少ない理由を伺う。

答 通学路等歩行者が安全に通行できるように、あえて車道幅を外側線により5.5m以下にし、自動車交通のスピード抑制を促す施工もしている。また、幹線道路等のラインが薄くなっている箇所につきましては、警察署を含めた関係機関による通学路等における合同安全点検により要望された箇所を順次施工し、道路交通安全確保に努めている。

問 東第一土地区画整理事業に伴う都市計画道路「坂下喜多方線」の進捗状況を伺う。

答 当該箇所について道路築造工事が施工されていない。事業遂行に当たっては工事費、移転補償費の高騰とともに水路の築造工事が町単独費による施工となる。今後は計画的に保留地処分を進め費用をねん出しながら、当該路線の整備を進めたい。



早急な安全対策が望まれる原街道

問 当町の鳥獣被害対策を問う
鳥獣被害防止総合対策交付金を活用

答 以前、購入した捕獲用罠の活用を伺う。

答 被害状況や生息状況を調査し、当町が保有する捕獲用罠を活用して、関係機関と連携を図りながら鳥獣の個体数の減少に努めてまいります。

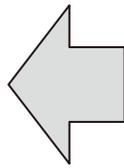
障がい児・障がい者への支援の充実と

若者が活躍する姿をもっと前面に

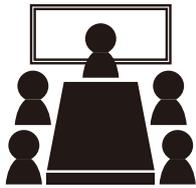
①聴く



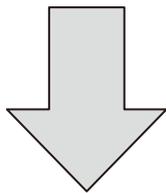
令和元年度のばんげ未来トーク(計7回、86名参加)により、町民の様々な課題が出された。



②話し合い



議員で実施報告書をもとに議員間討議



③皆さんの**声**を議会が町へ提言

提言書

1. 障がい児・障がい者への支援

寄り添っている家族を、町がいかにか支援できるかという観点で議会において検討を行い、下記の支援を行うよう求める。

- (1) どこに相談したら良いのか分かりにくい状況を打開するため、相談窓口の充実を図り、不安や悩み、問題点が共通している保護者同士の情報交換の場を提供すること。
- (2) 将来不安なく社会生活ができるように、未来への選択肢を一緒に考える事の出来る専門家へ繋いでいく仕組みを構築すること。

2. 中高生の町事業、催事への積極参加

第六次振興計画実施計画において「若者を政策の主体として位置づけ、本腰を入れて世代リレーに取り組む」目標を実現するためにも、下記の取り組みを行うよう求める。

- (1) 中高生の町事業、催事への積極参加を企画すること。
- (2) 現在、各種ボランティアに参加しているが、もっと若者の活躍が町民の目に広く映るように、ばんげ秋祭りの審査員に中学校の生徒会役員を入れることや、若者集会(U30)による地域活動推進事業として秋祭りの仮装山車の製作参加を促すこと。

研修

町村議会の現状と課題について学ぶ

町村議会議員研修会（郡山ビックパレット）



1月27日に福島県町村議会議長会主催の研修に参加しました。

<講演内容>

- ①日本の政局・政治の行方
(時事通信社解説委員 山田恵資氏)
- ②町村議会の現状と課題
- 町村議員の役割と議員報酬・定数の在り方 -
(明治大学政治経済学部 牛山久仁彦教授)

報告

ばんげ未来トーク (川西熟年大学)

町民議会懇談会（津尻温泉 滝の湯）



令和2年1月16日、川西地区地域づくり協議会熟年講座会員25名と総務常任委員会等9名が参加し、実施しました。

テーマは「防災と今後の会津坂下町について」で、活発な意見交換がなされました。昨年の台風19号がもたらした災害での今後の課題について、提案された要望事項は、①河川の改修、特に樋門の改良 ②自主防災組織の確立 ③災害用備品等の確保 ④12時台のバス運行再開を望む声が出されました。

議員提案で
条例を改正

さらなる町議会活性化を目指して

さらなる町議会の活性化を図るため、猪俣恒雄副議長から、議員全員賛成者となり、下記の条例及び規則の一部改正案が提出され、原案どおり可決されました。

議会基本条例の一部改正

- ①地方自治法改正に伴い、「会津坂下町振興計画基本構想」を議決事項に追加。
- ②議会基本条例がきちんと機能しているのかを確認するため、毎年、政策会議（議会組織内）において検証を行い、見直しを継続していく取り組みを条例に追加。

議会会議規則の一部改正

将来の議会議員の方々に向けて、女性や若い世代が活躍できる環境を用意し、まちづくりに参画しやすい議会に変えていくために、女性議員が出産のため議会に欠席届を提出することを規程に追加。

祝 長年の功勞により 表彰されました。

永年勤続功勞者表彰
(議會議員21年以上在職)



酒井育子議員と水野孝一議員



表彰者2名の肖像画が議員控室へ掲額されます

全国町村議会議長会自治特別功勞者表彰 (議會議員15年以上在職)



猪俣恒雄議員

編集後記

世界中に恐怖を与えている「新型コロナウイルス」物流も経済も、ましてや人の命さえも奪ってしまっています。目に見えるわけでも、形や色に表すこともできない、やっかいな「菌」に人類たちが立ち向かっています。人間形成で大切なコミュニケーションが、このウイルスによってとれず個々との戦いとなっていく気がします。

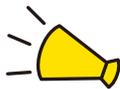
議会もこの度の改選により、2名減の14名でスタートしました。町民とのコミュニケーションを大切に、たくさん課題を力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。「菌」に惑わされず、あちこちで桜や春の花が咲き、心を和ませてくれます。早いウイルスの終息(収束)を願う気持ちでいっぱいです。

(委員長 青木美貴子)

広報広聴特別委員会

- 委員長 青木美貴子
- 副委員長 横山 智代
- 委員 目黒 克博
- 委員 蓮沼 文明
- 委員 小畑 博司

みなさんの声



議会傍聴に参加して

大江 菊地 一正

私は、若宮地区地域づくり協議会の副会長という立場で、第六次会津坂下町振興計画の策定に参加しました。

今回の議会定例会では、地域づくりと第六次振興計画実施計画についての質問があるということで、町としてはどの様な考えで実行していくのか大変興味を持

って傍聴に臨みました。

地域づくりコーディネーターの配置によってコミュニティセンターを中心に関場が直接現場と係わっていくこと。そのために関場内に地域づくり推進会議を設置し連携するとともに、課題解決型の事業展開を図ること。そして、年2回開催する地域懇談会には、三役が必ず出席すること等、前向きな質疑応答がありました。ぜひ、実施して欲しいと思います。青年会議所や短大生・高校生等、若者の意見を施策に反映することは、意義のあることだと思いますが、町を活性化す

るためには、もっといろんな団体との連携強化も必要だと思います。特に、区・地域・町が繋がるためには、区長の役割がとても重要です。区長・自治会長と地域づくり協議会の関係や役割について、もう少し踏み込んだ議論をして欲しかったと感じました。

町の財政が厳しいので、予算を伴う事業については突っ込んだ議論がしにくい状況が続いているようですが、何をしなければならぬのか優先順位を決めて、より良い坂下町になるように積極的に頑張りたいと思います。

